

# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和5年2月27日現在  
江戸川区立瑞江小学校

令和8年度までの目標

国語

算数

自校AB層の割合

55%

自校AB層の割合

50%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弛まぬ教材研究</li> <li>・学年間での意見交換と連携</li> <li>・学習テキストやワークシートの共有</li> <li>・校内研究への積極参加</li> <li>・教科担任制の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習での既習学習の復習</li> <li>・定期的な漢字テストの実施</li> <li>・デジタルドリルの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や学年だよりを通じた保護者への働きかけ、宿題チェック</li> <li>・すこやかカードの実施</li> <li>・一人一台端末、デジタルドリルの積極的な活用</li> <li>・えどダブルルール等の周知・徹底</li> </ul>
特に支援が必要な児童への手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解こうとする姿勢や、解答したことを称賛して、自信をつけさせたり、楽しさを実感させたりする。</li> <li>・発問やワークシートを工夫することで、一人一人が考えを持てるようにする。</li> <li>・校内研修（瑞江塾）などでの情報交換をする。</li> <li>・早い段階で他の児童の例示を示し、「写す」という行為を許容する。</li> <li>・授業の中に10分に1回は活動（立つ、座る、話し合う、手を挙げる）を入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリルの診断結果に基づいた宿題や補習の実施をする。</li> <li>・単元内で習熟度の確認を行い、取り残しをないようにする。</li> <li>・学期や年間を通して、児童の課題を把握し、復習したい事柄について、授業の帯で学習活動を設定する。</li> <li>・漢字の音読など、声に出す機会を増やす。</li> <li>・課題の出題数を調整し、集中して取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせた課題設定をする。</li> <li>・個別の学習状況や課題を保護者と共有し、連携を図る。</li> <li>・掲示、個別の声がけ、クラス児童への紹介などを行い、学習習慣への意識を高める。</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査質問用紙「自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」肯定的な回答割合が68.5%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査質問用紙「授業の内容はよくわかりますか」肯定的な回答割合が85%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査質問用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない」の回答割合が60%以上。</li> <li>・全国学力調査質問用紙「学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上」の回答割合が70%以上。</li> </ul>